

2023年2月1日発行(毎月1回1日)

# 三田評論

2023

2

No.1274

特集

日本の“働き方”再考



慶應義塾

塾員センター課長。

(会員) 能勢仁、吉岡隆一郎、大坪嘉春、阪東宗文、星野恭一郎、佐藤和夫、菅原敏彦、鈴木一行、下中美都、福岡正人、黒川弘一、古岡秀樹、依田俊之、古谷俊勝、土肥由美子、吉田啓二、土井二郎、加藤純士、田北浩章、高橋隆一、古庄修、佐藤歩武、新田義定、中西淳一、柳井雅、北村尚子、高橋寛、石川守延、益井英郎、安居夏生、塩見渉、中野裕士、小山朝夫、多田佳明、坂尾昌



出版三田会



不動産鑑定士三田会

て、池田副会長の乾杯挨拶を経て懇親会へ移った。懇親会では初めての試みとして、ワグネルの弦楽四重奏を楽しみ、一同その演奏に聞き入った。最後は尾藤事務局長の挨拶により、来年の再開を期待して閉会した。

当日の参加者は次のとおり。相庭康男、阿部隆志、新井香里、池田守、稲野邊俊、岩指良和、遠藤真司、緒方瑞穂、岡村淑子、小山内彩乃、小澤孝明、尾藤哲、小坂一史、嶋

昭、小山太一、東寿浩、深津加代子、益田健太郎、江川洋平、鈴木貴裕、澤田将、高田ありさ。(ゲスト) 栗林信介、栗林美保、花塚久美子、鬼頭華子、薬品稔、須藤晃代、中原祐史、城野えん。

慶應読書会 十一月二十四日午後六時より、三田キャンパス・ファカルティクラブにて開催。例会を行う。

講師は東海大学文化社会学部教授の堀啓子氏。演題は「文豪・夏目漱石の誕生」教師から作家へ。

当日の参加者は次のとおり。秋山譲介、合田正夫、近藤一樹、仙石通泰、田村和己、沼尻潤一、福岡正夫、福原那雄、堀啓子、丸山徹、山口光恒、余語満男。

ワンダーフォーゲル三田会天六会 十一月二十四日、銀座・交

田謙吉、新橋信仁、杉浦綾子、田中宏一、田中秀夫、田村直之、津留伴一、土井結香、西脇正樹、馬場佳子、伴野琢也、平井聡一郎、船木久義、丸島滉平、村田良一、吉田稔。

商学部唐木研究会 十一月二十六日、三田キャンパス西校舎五一七教室にて開催。唐木研究会創設五〇周年記念総会を行う。

三年ぶりの対面総会で、一五名が来場したほか、ネットを通じて二九名、計一四四名が参加した。

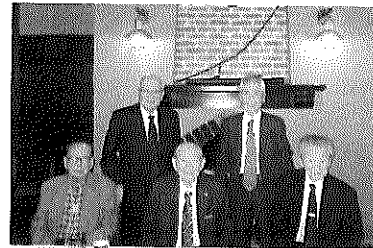
唐木研究会は、唐木園和名誉教授が一九七三年にゼミを開設し、三三年間に亘り活動を続けてきた。二〇〇六年に最後の三十二期が巣立ったあとも、各期幹事が中心となり、今でも毎年一〇〇名以上の三田会会員が集っている。

総会では唐木名誉教授が、ゼミ創設時の理念、その理念に賛同・共感して集ったゼミ生と思

詢社にて開催。

昭和二十年卒業生のOBで毎年会合をしていたが、コロナの影響で開催できず、三年ぶりの交詢社開催となった。

今回は五名が参加。二十七年卒の亀井君はわざわざ仙台から元気にやってきてくれた。昔の築地「天六」での思い出話、七〇年近い昔の現役時代の山行の話をした。次回から若い人も入れて楽しく会を運ぼうと決めて散会した。



ワンダーフォーゲル三田会天六会



商学部唐木研究会

いの変遷、未来に向けたゼミ生への期待等を講演された。参加ゼミ生は、高い志を持つ仲間が集い、福澤先生の「独立自尊」の教えに則り、切磋琢磨しつつ、各自の目的達成に向けて不断に努力する精神「これを我々は「唐木スピリット」と呼称」を共有していることを再確認した。

講演後、会場参加者の一人一人が唐木先生と言葉を交わし、三田での若き時代を振り返った。

当日の参加者は次のとおり。亀井昭伍、宮本雅司、坪田公夫、鈴木一作、中村弘。

不動産鑑定士三田会 十一月二十五日午後六時半より、三田キャンパス・ファカルティクラブにて開催。第三四回総会・懇親会を行う。

コロナの第八波感染拡大が危惧されることから、慶應義塾や他の専門職三田会、不動産鑑定士稲門会等の招待はとりやめ、会員のみでの対面交流となったが、三〇人近い参加者を得た。熊本、大阪、栃木など地方からの参加者も見られ、盛況な集会となった。

尾藤事務局長の司会により始まり、緒方会長挨拶、岩指幹事(監事代行)の会計報告を承認した後、新役員選任、規約の見直しについても満場一致で可決された。新入会員の紹介を経て総会は終了した。続いて新幹事の司会によつ

囲碁三田会 十二月三日、市ヶ谷日本棋院会館にて開催。慶應義塾大学囲碁部、同OBORG会と共に「慶應囲碁フェスタ2022」を行う。

当日は囲碁部顧問の大竹英雄名誉譽聖とともに現役学生約二〇名が参加。さらに今年は慶應義塾高等学校、幼稚舎からもあわせて十名が、そして卒業生とその家族約七〇名が参加、あわせて総勢一〇〇名を超える盛会となった。

澤口剛一OBORG会長による開会挨拶の後、三田代表の奥真珠さんより今年の現役の成績報告があった。

その後学生、卒業生入り混じった懇親会が、一斉にあちらこちらで始まるとともに、慶應OGのプロ棋士である岩田紗絵加初段、現役学生森智咲初段の三面打ちによる指導碁が行われた。また例年と同じく現役、OB